

豊中市議会議員(市民派・無所属)

福岡まさき

平成21年1月 後援会事務局発行

市政だより

十二月議会

**今後の市政運営と「ふるさと応援、寄付条例」制定**

去る12月1日から豊中市議会12月定例会が開催され、4日から9日まで各常任委員会で補正予算審議、17日から19日まで本会議での個人質問が行われました。本会議でもようはインターネットで生中継が行われ、録画中継については本年1月中旬ころから配信されます。

【財政再建】さらなる強化

◇アメリカ発の金融危機が世界に拡大しわが国産業界においても自動車、弱電、精密といった国際企業から中小零細企業まで、大きな影響を受けています。わが豊中市においても雇用不安や、中小零細企業の資金繰り悪化と市税収入の落ち込むことが予測され対策が求められます。

◇財政再建中の豊中市において、厳しい社会・経済状況のなか来年の予算編成に

あたり、税収不足をどう考えるのかなど議論されました。

また、これまで私が率先して取り組んできた学校の耐震問題や産業振興・企業誘致のほか、遅ればせながらも人件費カットや黒塗り公用車の廃止などにも賛同者が出てきた今議会でした。

◇今議会では「ふるさと応援」寄付条例が制定されました。しかし、市政改革に自らの身を切り、結果を出してこそ市民に寄付のお願いもできるというものです。まずは、6割を占める他市に住む市の職員に「ふるさと納税」をお願いすべきと市長に提言しました。

※ 寄付をされると個人住民税の控除が受けられます。法人からの寄付については、従前どおり法人税法上、全額損金算入できます。

(豊中市を応援して下さい)

お問い合わせ先

豊中市市民税課 Tel (6858) 2131

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501

豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL 6858-2620 (直通)

FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082

豊中市新千里東町2-7 C27-1109

TEL 6833-7705

FAX 6831-1281

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

豊中市議会本会議がインターネットで！

豊中市ホームページ ⇒ 市議会のページ

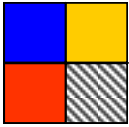
⇒ インターネット議会中継

⇒ 議会中継(ライブ・録画中継1/中旬)

**福岡正輝 ホームページ開設しました**

<http://www.fukuokamasaki.com>

(お気に入りに入れて下さい)



「福岡 まさき」の質問と実現できたこと

公営住宅の建替えと地区計画

豊中市内には多くの公営及び公的賃貸住宅があります。最近では老朽化や住宅性能の劣化のほか、エレベーターのない住宅も多く高齢化社会に対応できず、建替えが多くなっています。

豊中市のこれまでの立場は

- 住民に対する建替えの説明は、事業主である大阪府や府住宅供給公社、都市機構が行い、市は法律にのっとり事業者と協議する。
- 地区計画については、条例の規定により3週間、公衆の縦覧に供する。

しかし

これは「建替えは大阪府や供給公社から聞いて下さい」「地区計画については縦覧してますから、意見があったら言ってください」というものです。これでは「まちづくり」に対する市の主体性や顔が見えてきません。

「住民主体のまちづくり」とか「市民と行政による協働とパートナーシップ」を言うのであれば、もっと市民の中に入り、共にまちをつくる気概と迫力、情熱が必要だと提言しました。

結果、今後、市は各部局とも連携し、地域との密接な関係作りと情報収集に努めることを決定、手始めに新千里東町連協に対し、去る12月20日地区計画の詳細説明を実施しました。

今後の「まちづくり」手法の先進モデルになればと考えています。

楽しく便利な「コラボ」にするために

千里文化センター(コラボ)を利用しやすい、楽しい施設とするためこれまで取り組んできました。

①今回は、民間倉庫に眠る豊中市所蔵の芸術作品を「コラボ」など各市施設で展示する試みです。

順次拡大することで倉庫保管料の縮減と市民満足度の向上が見込まれます。

②いちいち本庁に行かなくとも出張所(千里、庄内)で事足りる業務体制を整備し、高齢者や障害者の負担を軽減することで市民サービスの向上をめざします。

(可能なものから実施する方向で調整中)

③コラボを魅力ある情報受発信基地として機能させるため、壁面に電光掲示板を設置し、市民にさまざまな情報やニュースを提供する。(コラボや豊中市からのお知らせ、新聞・テレビのニュースなど)

※ 市の財政に負担をかけず、今回成立の寄付条例の適用や工夫とアイデアで実現できればと思います。

また、運営コストについても採算ベースに乗るような手法で取り組むべきだと考えます。

尚、千里中央駅の1日当たりの乗降客数は16万人。これは阪急庄内駅から蛍池まで6つの駅の乗降客数に匹敵する規模であり、北大阪きってターミナル駅です。





今こそ「もったいない」教育を



着々実現!

学校の光熱水費削減への取り組み

議員になって2年目の文教常任委員会で、単に経費の削減だけでなく、教育的視点や環境対策(CO2削減)から学校での光熱水費削減に取り組んできました。

しかし、何年もの間これといった成果もないまま、19年度に府内では珍しい中学校の全教室にエアコン設置を耐震工事より優先して実施したため、関係者の努力も徒労に終わっていました。

今回、この取り組み実施を強力に進めた結果、財政や環境問題も後押しし、教育委員会も重い腰を上げました。

制度の中身は「フィフティ・フィフティ制度」と呼ばれ、節約できた分の半分は市の財政へ、半分は学校へ還元する仕組みです。努力すれば社会に対する貢献や自らの利益になり、達成感への喜び

給食センター建替え

豊中市は原田、服部、両給食センターと4つの自校方式により、全小学校の給食を実施しています。しかし、それぞれの設備も老朽化し、部品の交換も難しい状況となりつつあります。また、現在の「学校給食衛生管理の基準」を満たすドライシステムや新たな機能の導入に対応するには、大きな敷地が必要となります。

しかし、昨今の厳しい経済状況や今後予測される大幅な税収不足などから大規模施設の建設は難しいと思われま

す。豊中市教育委員会では、新たに取得する用地を小さくし、現在のセンターを有効活用し建替えを行うローテーション方式も選択肢の一つとしています。

ともなります。特に学校への還元分の使い道については制約を加えず、教職員と児童・生徒がともに考え知恵を出す学習の場となるよう要請しました。

「照明のLED化」で明るく財政再建

LED(発光ダイオード)照明の電力料金は白熱電球の1/10、蛍光灯の1/2位だと言われています。また、長寿命や水銀を含まない、本体にガラスを使っていないなど多くの特徴をもっています。

豊中市の19年度電力使用料約15.5億円、LEDへの切替えにより億単位の削減効果が期待できます。

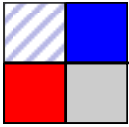
難点は器具の量産効果が出ていないため初期費用がかさむこと。まずは高所や危険個所など交換費用が本体の何倍もかかる個所から始め、最適の導入時期を研究、検討するよう提案しました。

給食制度の選択制を提案!

私はこれまで給食センター建替えのため視察や調査・研究を続けてきました。現在の給食制度を評価し、大変ありがたいというのが多くの意見です。

しかし、地域によっては選択制をとっているところもあり、「子どもの食事は我が家で作りたい」「弁当づくりで子どもの体調確認と健康管理」「手間暇かけることこそ愛情」「アレルギー食については親が一番分かっている」など多くの声があるのも事実です。こうした人たちまで給食制度を強いることはありません。

なんでも人任せや公への依存が増え、家庭の力や工夫・努力する力がそがれます。こうした事の行き着く社会に警告を
発しておきたいと思います。



地域力を高め「分権型社会」実現

これまで私は、過度に国を当てにせず基礎自治体として自立することが大切だと言いつけて来ました。

収入面から…

- ・教育文化都市を本物にし、住宅環境都市として若年世代の人口移入の促進。
- ・産業振興や企業誘致による税収確保。

支出面から…

- ・職員定数削減や給与カット、事務事業の見直しや可能なものは民間へ委託。
- ・市民から知恵と労力を借り、効率的市政運営の実現。削減効果の一部は市民に還元する仕組みづくり。

こうしたことを実現し自立できなければ安心・安全は勿論、政治の目的でもある**福祉社会の実現**はできません。

【参加と協働】の仕組みづくりと実践を通じ「分権型社会」の先進モデルとなるよう地域と一緒に取り組んでいきます。

地域力を活かした公園整備

以前から地域の方々と取り組んでいた地区公園(新千里東町公園)の整備を12月7日、数名の市職員と地域の方々合計40名で実施しました。

今回整備した地域は良好な雑木林として保存すべく検討された場所です。しかし大量の竹が繁殖し、このままでは雑木林が駆逐されるのが目に見えているため実施しました。当初は一日で出来るのかと心配しましたが、何と半日で予定の作業を無事終了しました。

これだけの作業を業者に委託すればどれほどの費用負担が発生したか容易に想像がつきます。



ご参加いただいた市民の皆様にご感謝とともに、今後のまちづくりに引き続き応援をお願い致します。

屋根付きバス停完成(千里体育館)

千里ニュータウン内のバス停留所に屋根を付けて頂くよう阪急バスに要望していましたが、今回千里体育館前のバス停に設置されました。

雨の日や日差しの強い日は大変でしたが、「待ち時間があっても楽になりました」と感謝の言葉をいただきました。

今後については物理的なスペースがあれば実施していく方針です。



・言いたい放題・

定額給付金については、紆余曲折を経ながらも政府与党は支給の方向です。(1/5日現在)

2兆円もの大金に事務手数料まで使って地方自治体にまる投げし、どれだけの経済効果があるのか疑わしい。国民の多くは反対するが、数年後には消費税で回収させていただきます。

それならとにかくもらっとこ、と思うのは人情。選挙目当ての「究極のバラマキ」で人の心を動かそうとする「さもしいやり方」に甘く見られたものだとガッカリ…

全国の「振り込め詐欺師」たちの“ニタリ”とする姿が脳裏をかすめます。

みなさん気をつけて～



【福岡正輝と豊中市政を変えましょう】

地域力を高め「分権型社会」実現

これまで私は、過度に国を当てにせず基礎自治体として自立することが大切だと言いつけて来ました。

収入面から…

- ・教育文化都市を本物にし、住宅環境都市として若年世代の人口移入の促進。
- ・産業振興や企業誘致による税収確保。

支出面から…

- ・職員定数削減や給与カット、事務事業の見直しや可能なものは民間へ委託。
- ・市民から知恵と労力を借り、効率的市政運営の実現。削減効果の一部は市民に還元する仕組みづくり。

こうしたことを実現し自立できなければ安心・安全は勿論、政治の目的でもある福祉社会の実現はできません。

【参加と協働】の仕組みづくりと実践を通じ「分権型社会」の先進モデルとなるよう地域と一緒に取組んでいきます。

地域力を活かした公園整備

以前から地域の方々と取り組んでいた地区公園(新千里東町公園)の整備を12月7日、数名の市職員と地域の方々合計40名で実施しました。

今回整備した地域は良好な雑木林として保存すべく検討された場所です。しかし大量の竹が繁殖し、このままでは雑木林が駆逐されるのが目に見えているため実施しました。当初は一日で出来るのかと心配しましたが、何と半日で予定の作業を無事終了しました。

これだけの作業を業者に委託すればどれほどの費用負担が発生したか容易に想像がつかます。



ご参加いただいた市民の皆様に感謝とともに、今後のまちづくりに引き続き応援お願い致します。

「携帯電話」の電磁波障害？

一部の地域で「携帯電話」基地局が発する電磁波の人体に対する影響が問題となり、豊中市議会でも取り上げられ話題となっています。

この問題は医学的に証明されたわけではなく、いわば人体への影響が疑われるという研究があることです。

しかし、携帯電話と電磁波との関係では、むしろ基地局からの影響よりも人体と至近距離で接する「携帯電話」本体からの影響が心配されます。特に子供や若い人たちのように細胞も若く長期間、脳や眼球が電磁波を浴び続けることが心配です。

詳細はグーグルトップページから

【電磁波障害 福岡正輝】

で検索してください。



・言いたい放題・

定額給付金については、紆余曲折を経ながらも政府与党は支給の方向です。(1/5日現在)

2兆円もの大金に事務手数料まで使って地方自治体にまる投げし、どれだけの経済効果があるのか疑わしい。国民の多くは反対するが、数年後には消費税で回収させてもらいます。

それならとにかくもらっとこ、と思うのは人情。選挙目当ての「究極のバラマキ」で人の心を動かそうとする「さもしいやり方」に甘く見られたものだとガッカリ…

全国の「振り込め詐欺師」たちの“ニタリ”とする姿が脳裏をかすめます。

みなさん気をつけて～

